

日本学術会議公開シンポジウム



学校教育にもとめられるオープンデータを活用できる人材育成

— 日本学術会議提言：「地理教育におけるオープンデータの利活用と地図力/GIS技能の育成(地域の課題を分析し地域づくりに参画できる人材の育成-)」(2014年秋公表)を踏まえて—

主催

地域研究委員会・地球惑星科学
委員会合同地理教育分科会

日時 2014年 8月20日(水)
13時～17時30分

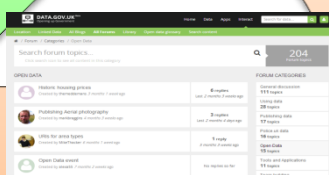
場所 日本学術会議講堂

後援 地理情報システム学会
地理学連携機構(31学会連合)

開催主旨

2013年、G8が「オープンデータ憲章」を合意しました。全世界規模でオープンデータ・オープンガバメント政策が進展しており、我が国でも全省庁が連携して実施されつつあります。

学校教育におけるオープンデータを活用できる人材育成は、非常に重要といえます。本シンポジウムは、日本学術会議の提言(2014年秋公表)を踏まえてこの問題を考えてみます。



問い合わせと申し込み方法
(8月20日12時まで) 碓井照子

geographyeducationjapanscj@gmail.com ご氏名、ご所属、メールアドレスを記入して申し込みください。

プログラム

司会 太田 弘(慶応義塾普通部教諭 日本学術会議地理教育分科会地図/GIS教育
小委員会幹事)

はじめの挨拶 13:00～13:15
碓井照子 (奈良大学名誉教授 日本学術会議第一部会員)

基調講演 13:15～13:45
「オープンデータの実践と学校教育にもとめられる人材育成とは何か」
高校における教科科目「情報」と「地理」の重要性
坂村健(東京大学大学院情報学環・教授 日本学術会議第三部会員)

パネルディスカッション 13:45～17:00
「米国でのオープンデータの取り組みとGIS」 13:45～14:00
鈴木 茂雄 (ESRIジャパン株式会社技術推進グループ 部長)
「日本におけるオープンデータの取り組みとGIS」 14:00～14:15
北川 正巳 (株式会社パスコ事業推進本部事業推進部 部長)
「オープンデータの利活用と日本における情報経済社会の推進
—学校教育に期待する人材育成—」 14:15～14:30
坂下哲也 (一般財団法人日本情報経済社会推進協会 電子情報利活用究部 部長)
「京都オープンデータの活動と学校教育におけるオープンデータ活用の意義」
青木 和人 (京都オープンデータ実践会代表 立命館大学院非常勤講師) 14:30～14:45
「マッピングパーティーを通じたオープンデータづくりと人材育成」 14:45～15:00
古橋大地(マップコンシェルジュ株式会社社長 一般社団法人 OpenStreetMap
Foundation Japan 代表)
「オープンデータと地理/防災教育—期待される効果と普及・活用への課題」
伊藤 智章(静岡県立裾野高等学校教諭) 15:00～15:15

休憩 15:15～15:30

「大学教育におけるGIS教育の推進の必要性」 15:30～15:45
矢野桂司 (立命館大学教授 地理情報システム学会会長 日本学術会議連携会員)
「大学のGIS教育において、一般企業のGIS技術者(GIS上級技術者)との連携」
村尾吉章 (日本アイ・ビー・エム(株)グローバルビジネスサービス事業 GISサービスシニア
アコンサルティングITスペシャリスト 奈良大学非常勤講師) 15:45～16:00
「オープンデータによる”みんな”でつくるデジタル地図教材 学校教育支援活動」
仙石裕明 (NPO法人伊能社中理事) 16:00～16:15
「NPO全国GIS技術研究会による工業高校のGIS実習支援活動」 16:15～16:30
河名 洋一 (NPO法人全国GIS技術研究会関東支部理事)
「測量専門学校の減少と測量業界における人材育成の課題」 16:30～16:45
土田 俊行 (中央工学校土木測量学科長)
「地図・測量/GISの現状と将来」 16:45～17:00
星埜 由尚 (日本測量協会副理事長 元国土地理院院長)

質疑応答 17:00から17:25

おわりの挨拶 17:25から17:30
熊木洋太(専修大学教授 地理教育分科会幹事 日本学術会議連携会員)

日本学術会議への交通アクセス

〒106-8555

東京都港区六本木 7-22-34

アクセス 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口



本シンポジウムへの参加はメールで申し込みください。

問い合わせと申し込み方法

(8月20日12時まで) 碓井照子 (うすい てるこ)

geographyeducationjapanscj@gmail.com

ご氏名、ご所属、メールアドレスを記入ください。